

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 21 年 6 月 18 日 (2009.6.18)

【公表番号】特表 2008-540484 (P2008-540484A)
 【公表日】平成 20 年 11 月 20 日 (2008.11.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-046
 【出願番号】特願 2008-510532 (P2008-510532)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 31/232 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/107 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/232

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 9/107

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 24 日 (2009.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

腫瘍性疾患の治療のための医薬組成物を製造するための、DHA グリセリドが濃縮された油の使用であって、該油は該医薬組成物の総重量に対して 70 重量%までの濃度で濃縮されており、かつそのドコサヘキサエン酸は該油中の脂肪酸の全アシル基に対して少なくとも 50%の割合である、該油の使用。

【請求項 2】

前記医薬組成物がエマルション形態である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

前記濃縮油がエコサペンタエン酸を、前記油の脂肪酸の全アシル基に対して 30%までの重量百分率で含む、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 4】

前記濃縮油が 1 ~ 70 重量%の範囲である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 5】

前記濃縮油が 10 ~ 30 重量%の範囲である、請求項 4 に記載の使用。

【請求項 6】

前記ドコサヘキサエン酸が 50 ~ 100%の割合である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 7】

ドコサヘキサエン酸の前記濃度が前記油中の脂肪酸の全アシル基に対して 70 重量% ~ 90 重量%の割合である、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 8】

前記ドコサヘキサエン酸が前記油中の全脂肪酸に対して 70 重量%の割合である、請求項 7 に記載の使用。

【請求項 9】

前記エマルションの平均径が 200 nm 未満である、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 10】

前記医薬組成物が非経口経路により投与される、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 1 1】

前記医薬組成物が腫瘍内注射により投与される、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 1 2】

前記医薬組成物が、少なくとも 1 種の抗腫瘍形成薬を併用して受けている患者に投与される、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 1 3】

治療すべき腫瘍性疾患が、肺、前立腺、腸、乳房、膵臓、脳、中枢および末梢神経系の癌、黒色腫を含む群のうちの 1 つである、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか一項に記載の使用。